



平成26年10月2日

各 位

上場会社名 株式会社 シー・ヴィ・エス・ベイエリア  
 代表者 代表取締役社長 上山 富彦  
 (コード番号 2687)  
 問合せ先責任者 管理本部長 鱒淵 晃  
 (TEL 043-296-6621)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月7日に公表いたしました平成27年2月期第2四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)の業績予想および配当予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,650	112	103	46	0.93
今回修正予想(B)	14,917	148	176	211	4.28
増減額(B-A)	267	36	73	165	
増減率(%)	1.8	32.1	70.9	358.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	15,461	133	174	148	3.02

平成27年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,615	30	37	19	0.38
今回修正予想(B)	11,509	51	106	183	3.73
増減額(B-A)	△106	21	69	164	
増減率(%)	△0.9	70.0	186.5	863.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年2月期第2四半期)	12,090	24	84	80	1.64

### 修正の理由

個別業績において、主力事業であるコンビニエンス・ストア事業の売上高が、消費税増税による節約志向や夏場の天候不順の影響などにより苦戦し、期初に想定した売上を小幅ながら下回る結果となりました。一方、コンビニ店舗における手数料収入が見込みより増加したことや、ビジネスホテル事業が順調に推移したことから営業総利益が予想を超過したほか、店舗閉店に伴う後継テナントが順調に決定したことによる原状復帰費用が低減できたことによる資産除去債務履行差額を計上したことにより、営業利益は期初予想値を上回る見通しです。

また、営業外収益として有価証券評価益を計上することなどから経常利益が大幅に予想を上回る見通しとなったほか、期初から不採算店14店舗を閉店するに際し、関係取引先との交渉を進めた結果、原状復帰義務の消滅や閉店に伴う費用が当初の見積額より安価に済んだことなどにより、店舗閉鎖損失引当金戻入額86百万円を特別利益として計上することから、大幅な業績予想の修正にいたしました。

連結業績については、連結子会社2社の業績は概ね順調に推移しており、単体の業績予想の修正を受け、上記の予想に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、平成26年10月6日に予定しております第2四半期累計期間決算発表時に、お知らせいたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (26年4月7日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年2月期)	—	1.00	—	0.00	1.00

修正の理由

平成27年2月期の配当予想につきましては、営業利益水準が低いことや、個人消費の節約志向が依然として強く厳しい経営環境が続くと見込まれることなどを総合的に検討した結果、誠に遺憾ながら中間の配当予想を従来の未定から無配へと修正をさせていただきます。

なお、期末配当につきましては引き続き未定とさせていただきます。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上